



功労者表彰式開催（2017年度受賞）

2018年6月29日（金）、功労者表彰式（2017年度受賞）がベルサール新宿グランドにて開催されました。表彰式は、加盟団体代表委員の皆様のご出席のもと、盛大に執り行われました。長年のバレーボール界におけるご活躍とご功績に感謝申し上げますとともに、今後ますますのご健勝をお祈りいたします。

【功労者一覧】（以下敬称略）

《功労者Ⅰ表彰受賞者》

受賞者名	推薦団体
中川 和雄	大阪府バレーボール協会
白石 武彦	（一財）神奈川県バレーボール協会
林 義治	（公財）全国高等学校体育連盟バレーボール専門部

《功労者Ⅱ表彰受賞者》

受賞者名	推薦団体
黒田 謙二	北海道バレーボール協会
大江 憲一	北海道バレーボール協会
小山田 正敏	岩手県バレーボール協会
小野寺 二男	宮城県バレーボール協会
山下 兆子	（公財）東京都バレーボール協会
江村 恵一	（一財）長野県バレーボール協会
齋藤 信明	（一財）長野県バレーボール協会
伊藤 喜之	石川県バレーボール協会
佐藤 順一郎	（一社）静岡県バレーボール協会
前田 英典	岐阜県バレーボール協会
桑原 信治	岐阜県バレーボール協会
吉村 茂之	岐阜県バレーボール協会
藤井 重機	滋賀県バレーボール協会
河本 信正	京都府バレーボール協会
大森 栄二	島根県バレーボール協会
福家 浩二	香川県バレーボール協会
大川 良文	徳島県バレーボール協会



■表彰受賞者の集合写真

後列(左から): 吉村茂之、 伊藤喜之、 江村恵一、 小野寺二男、 大森栄二、 小山田正敏
 前列(左から): (齋藤圭一郎)、 白石武彦、 中川和雄、 林義治、 河本信正
 ※敬称略、()は代理出席者の方



■表彰受賞者とJVA 役員の集合写真

【受賞者のご紹介】

功労者 I 表彰受賞者

○中川 和雄（なかがわ かずお）

大阪府バレーボール協会推薦

中川和雄氏は、大阪府知事の時（1991年4月～1995年3月）には今後のバレーボールの発展を考え、1997年「なみはや国体」でビーチバレーボールを正式種目とすることを目指し、大阪府泉南郡岬町淡輪に国内初のビーチバレーボールの常設コート（潮騒ビバレー）の建設にご尽力されました。そのお陰で今日に至るまで「ビーチバレーワールドツアー女子大会」を13回開催し、更に数々の全国大会を実施しております。知事退任後は、1997年4月から大阪府バレーボール協会の会長として国際大会・全国大会等の開催に於いて大所高所からのご意見をいただいております。中川氏のバレーボール界の発展にかかわる功績は多大なるものと言えます。

○白石 武彦（しらいし たけひこ）

一般財団法人神奈川県バレーボール協会推薦

理事の時から審判委員会主事、競技委員長として審判員の育成、県内大会・全国大会・国際大会の運営、バレーボールの普及・発展にご尽力されました。他の役員からの信頼も厚く、専務理事の時は、日本マスターズ、第1回、第2回天皇杯皇后杯の開催をはじめ多くの神奈川県における大会を成功裏に運営されました。

また、協会の財政管理にも長けており、外部団体との連携を図る中で、一般財団法人移行後も安定した協会運営を続けることが出来ております。

更に、神奈川県クラブバレーボール連盟及び日本クラブバレーボール連盟を創設し、クラブチームの普及発展に努め、今もなお全日本クラブカップの大会運営を支援し続けております。

■2011年10月 文部科学大臣賞、2014年春 旭日単光章

○林 義治（はやし よしはる）

公益財団法人全国高等学校体育連盟バレーボール専門部推薦

林義治氏は、公益財団法人全国高等学校体育連盟バレーボール専門部の役員として長きにわたり、高校バレーボール界の普及・発展に多大なる貢献をされました。全国大会（高校総体、春高バレーなど）の企画・準備・運営は然ることながら、高体連の強化事業にも様々な創意工夫を施し、卓越した手腕を発揮されました。（高校選抜合宿オールスタードリームマッチ、タイ・バンコク遠征等）そして、全日本高校選抜チームを従え20回以上の海外遠征もされました。

また、全国高体連バレーボール専門部部長やJVA理事を6年間務められ、JVA理事の重責を担いながらもアンダーカテゴリーの責任者として、全日本男女ユースチームの団長を務めアジア大会や世界大会を何回も戦ってこられました。

功労者Ⅱ表彰受賞者

○黒田 謙二（くろだ けんじ）

北海道バレーボール協会推薦

競技委員として北海道内外の各種大会で活躍されたほか、1995年からは北海道協会競技委員長も務め道内競技委員の育成と発掘に尽くされました。

また、北海道バレーボール協会の傘下である札幌バレーボール協会の運営にも携わりながら、2013年から北海道協会の副理事長を務めるとともに、ワールドカップ女子大会等の国際大会や全国大会の招致、競技運営の要職としてご尽力されました。北海道協会の副理事長、常任理事、理事を務められた24年間、北海道内のバレーボール普及・発展や底辺の拡大など各般にわたりご活躍されたほか、競技委員の育成などにも献身的に取り組まれました。

○大江 憲一（おおえ けんいち）

北海道バレーボール協会推薦

国際審判員として国内外の各種大会で活躍した他、1995年からは北海道バレーボール協会審判委員長も務め、道内審判員の育成と発掘に尽くされました。

また、北海道協会傘下である札幌バレーボール協会の運営にも携わりながら、2011年から北海道協会の副理事長を務めると共に、ワールドカップ女子大会等を招致し、大変な盛会としたほか、2013年から北海道ビーチバレーボール連盟の会長として普及にもご尽力されました。北海道協会の副理事、常任理事、理事を務められた22年間、北海道内のバレーボール普及・発展や底辺の拡大など各般にわたりご活躍されたほか、審判員の育成などにも献身的に取り組まれました。

○小山田 正敏（おやまだ まさとし）

岩手県バレーボール協会推薦

1983年より岩手県バレーボール協会常任理事として着任以来、常任理事兼事務局長として22年間の長きに渡り協会の事務全般に携わり、会長、理事長を補佐し協会運営の円滑化や各加盟団体との調整連絡役としてご活躍されました。また、各種全国大会運営や県協会の運営や組織体制づくりにご尽力されました。加盟市町村協会設立やカテゴリーごとの県内連盟等の基礎を築き、県内バレーボールの普及・発展に大きく貢献されました。

2005年から参与としての2年間を経て、現在は副会長として10年以上にわたり会長を補佐し、岩手県内各種事業推進等に指導・助言を行ってきました。副会長就任と同時に2007年からは岩手県ソフトバレーボール連盟会長として、県内の生涯スポーツのけん引役としてその手腕を発揮されました。

○小野寺 二男（おのでら ふたお）

宮城県バレーボール協会推薦

宮城県バレーボール協会の主要役員（理事・常任理事・副理事長・理事長）として、長年ご尽力されました。併せて、選手の指導育成などを通してバレーボールの普及・発展に大きく貢献されました。また、各種バレーボール大会やワールドカップ、世界選手権をはじめとした国際大会の運営においても主要役員として活躍するなど、長年本県バレーボール界の普及・発展に尽力し生涯スポーツ推進に寄与されました。

また、JVA 公認審判員として1971年資格取得以来、各全国大会等において審判長を歴任し、国際審判員資格を取得され、国際大会等において審判員、また、Vリーグにおいてはジュリーとして大会運営においてもご活躍されました。

また、2001年宮城国体開催においては天皇杯総合優勝に輝くなど国体運営の中心的役割を担い、宮城県のバレーボール界をけん引されました。

○山下 兆子（やました ちょうこ）

公益財団法人東京都バレーボール協会推薦

創立50周年を迎えた東京都ママさんバレーボール連盟創立当初より、ママさんバレーボールの発展・普及のリーダーとしてご尽力されました。

第1回から第33回まで東京で開催された全国ママさんバレーボール大会（全国家庭婦人バレーボール大会）の運営における指導的役割を果たし、その後、全国いそじ大会、全国ことぶき大会の創設に関わり、生涯スポーツとしてのママさんバレーボールの礎を築かれました。

現在も東京都ママさんバレーボール連盟の顧問として連盟を支えていただいております。

○江村 恵一（えむら けいいち）

一般財団法人長野県バレーボール協会推薦

江村恵一氏は、1997年長野県バレーボール協会常任理事に就任以降、一貫して協会発展のためにご尽力されました。2003年4月から専務理事に就任し、長野県バレーボール界の普及・発展に貢献するとともに、協賛スポンサーの開拓による財政の強化及び長野県バレーボール協会の組織基盤の強化にご尽力されました。

また、1998年の世界バレーを皮切りに多くの国際大会を誘致し、国際大会及び国内大会の運営においても成功を収めました。

2008年法人法の改正に合わせ、いち早く一般財団法人への移行を決め、独自に研究を重ね2011年4月1日に一般財団法人長野県バレーボール協会に移行しました。

現在、業務執行理事副会長として、長野県協会の今後の在り方も含めた協会運営の中核としてご活躍されています。

○齋藤 信明（さいとう のぶあき）

一般財団法人長野県バレーボール協会推薦

1997年4月に長野県バレーボール協会の評議員に就任し、評議員・理事・常任理事・副会長の要職を歴任、長野県バレーボール競技の普及・発展、各競技会の企画運営および協会の組織基盤の強化にご尽力されました。

長野県バレーボール協会の理事、常務理事として地元長水協会で開催した1999年ワールドカップ長野大会の競技運営部長を皮切りに、グラチャン、世界バレー、ワールドカップの開催地責任者として多くの国際試合を企画運営し成功させました。また、日本リーグなどオフィシャル大会の企画運営も行い、開催地責任者としてご活躍されました。

2011年4月から副会長として、一般財団法人長野県バレーボール協会の今後の在り方も含めた協会運営の中核として活躍し、2017年より協会顧問として若手の指導育成にご尽力されてきました。

○伊藤 喜之（いとう きゆき）

石川県バレーボール協会推薦

長年、松任市・白山市内の7つのジュニア（スポーツ少年団チーム）チームそれぞれに、育成についてアドバイスを行い、チーム力向上や強豪チームで通用する選手の発掘に常に努力されました。近年、その育成の成果が実り、2016年には白山市立光野中学校全国優勝の一翼を担いました。また、高校世代では、国体選手を数多く輩出するなど、各世代において素晴らしい選手を育てた指導力は特筆に値します。白山市バレーボール協会会長就任以来、競技の普及や優秀選手の育成に努力されました。市町村合併後も引き続き市協会の会長として、登録チーム数を増やし、大きくなった協会を纏め上げ、協会の振興発展に貢献されました。ここ5年間においては市協会主催の24時間バレーボール大会開催にご尽力されました。

○佐藤 順一郎（さとう じゅんいちろう）

一般社団法人静岡県バレーボール協会推薦

東部地区出身の県バレーボール協会野田明宏理事長の補佐として事務局次長・事務局長を務め、よく理事長を助け、明晰な判断力に基づく言動で県協会を維持・発展させました。1994年からは同地区の豊竹徹県バレーボール協会理事長の補佐役として事務局長の役割に加えて副理事長（総務委員長）を兼務することもありました。東海バレーボール連盟役員も務め東海四県役員の交流の推進役となりました。日の当たらない役割でも実直に対応し、県バレーボール協会の運営の要として存在感のある事務局長でした。事務局長を交代してからは、副理事長・会長指名理事として会長を補佐するかたわら他の県協会役員の指導育成にも当られました。

○前田 英典（まえだ ひでのり）

岐阜県バレーボール協会推薦

長年にわたり、岐阜県バレーボール協会の理事（12年）、常任理事（10年）を務められ、県協会およびバレーボール界の発展に対し、多大なる功績を収められました。また、岐阜県ソフトバレーボール連盟理事長として2007年から2016年まで岐阜県のソフトバレーボールの普及・発展にご尽力されました。2017年からは、副理事長としてソフトバレーボールおよび県協会の運営にご尽力されています。指導歴においても、岐阜県庁男子チーム監督を8年間及びCGマスターズ監督を6年間務め、現在でも岐阜県庁女子チーム監督としてご活躍されています。

○桑原 信治（くわはら のぶはる）

岐阜県バレーボール協会推薦

長年にわたり、岐阜県バレーボール協会の理事（8年）、常任理事（14年）、副理事長（4年）強化委員長（8年）を務められ、岐阜県のバレーボールにおける強化および県協会の発展に対し、多大なる功績を収められました。指導者歴においても、JAぎふ女子バレーボール部総監督兼コーチを6年間務め、現在も東海学院大学女子バレーボール部監督としてご活躍されています。

○吉村 茂之（よしむら しげゆき）

岐阜県バレーボール協会推薦

長年にわたり、岐阜県バレーボール協会の常任理事（19年）として、また、東農支部の理事長としても支部・地域においてバレーボールの普及・発展のためにご尽力され、岐阜県バレーボール協会およびバレーボール界の発展に対し、多大なる功績を収められました。

更に、県審判委員会の審査部長として長年（16年）にわたり多くの審判員の育成事業を企画し、バレーボール競技の発展に貢献されました。2012年に開催されたぎふ清流国体では、若手審判員育成の中心となり、審判員の増員にご尽力されました。

○藤井 重機（ふじい しげき）

滋賀県バレーボール協会推薦

長年、滋賀県バレーボール協会において主要役員を歴任され、バレーボール競技の普及・発展及び県協会組織の充実にご尽力されました。各種の大会開催に当たっては、企画・計画・実行力を遺憾なく発揮され、円滑な大会運営に大いに貢献されました。また、県協会の加盟連盟・専門部等の運営面や連携においても献身的にご尽力されました。

更に、JVAの評議員や理事、近畿連盟理事長及び全国9ブロック理事長会代表理事長を務めるなど日本バレーボール界においても顕著なご活躍をされました。

滋賀県バレーボール協会の会長や近畿バレーボール連盟の会長としてご活躍され、県協会の専門部や協会の加盟組織・団体等との連携・指導に関して献身的にご尽力されています。

○河本 信正（かわもと のぶまさ）

京都府バレーボール協会推薦

長年にわたり、京都府バレーボール協会、京都府実業団連盟の要職を歴任し、組織運営充実に卓越した指導力を発揮し貢献されました。特に、京都府バレーボール協会において、国際大会・全国大会の誘致に取り組むとともに、大会の企画立案・実施に向けて協会組織の充実、後進の育成にもご尽力され多大なる功績を収められました。国際大会も2013年から連続4年間京都で開催することが出来ました。更に、JVAの評議員、近畿バレーボール連盟の常任理事・参与を務め、近畿の他府県協会との連携や情報交換に努力し貢献されました。

現在も京都府バレーボール協会副会長、京都府実業団バレーボール連盟会長、近畿実業団バレーボール連盟副会長の要職でご尽力されています。

○大森 栄二（おおもり えいじ）

島根県バレーボール協会推薦

大森栄二氏は、島根県バレーボールの普及・発展の礎を築き、多大なる貢献をされました。

また、県協会会長に就任後は強化育成を目指した島根県独自の「Vプロジェクト」の推進にご尽力され、県全体のバレーレベルの底上げに貢献されました。2015年度からは、バレーボール振興募金自販機の普及にも取り組まれ、協会の財源の確保、企業連携、地域貢献において多大な功績を残されました。

島根県の中学生指導の先駆者であり、1988年第18回全国中学校選手権において全国優勝、第2回さわやか杯全国都道府県対抗中学バレーボール大会で準優勝されるなど輝かしい指導実績をもち、優れたバレーボールプレーヤーを輩出されました。

○福家 浩二（ふけ こうじ）

香川県バレーボール協会推薦

香川県バレーボール協会の役員として、1979年から事務局長を始め要職を歴任し、2017年3月に会長を退任するまで通算39年もの長きにわたり、高校の教員を務めながら、香川県バレーボール協会の発展に多大なる貢献をされました。

また、四国バレーボール連盟の事務局長と会長を歴任し、香川県のみならず、四国のバレーボール競技の発展にも大きく貢献されました。

○大川 良文（おおかわ よしふみ）

徳島県バレーボール協会推薦

長年にわたり多くの中学生に対してバレーボールを丁寧に指導されました。このような地道な取り組みにより、徳島県バレーボールの強化・普及において大きな成果を残され、その功績については多くの関係者が認めるところです。バレーボールに対する熱意は指導だけに止まらず、協会の運営においても遺憾なく発揮されました。理事を14年、常任理事を4年、副理事を2年、副会長を8年務め、徳島県バレーボール協会の発展に多大なる貢献をされました。現在は顧問として徳島県バレーボールの様々な課題に対してご尽力されています。

以上